

9月～10月のりた（報告）

むらさきかん

9/13

むらさきかんまつり2020
～東部のイロドリ イロトリドリ～



東部地域やむらさきかんを利用する個人・団体(19団体)の成果発表の場。写真、絵画、造形作品などを募集し、東部地域の魅力を発信する展示会を開催しました。

よりなん

9/27

よりなん防災講習会



「防災意識の向上を目的に、岡崎市役所防災課や防災活動に取り組む市民活動団体(2団体)と連携し、「風水害」をテーマとした講演会や展示を行いました。

11月～12月のりた（告知）

時 開催時間 対 参加対象 所 開催場所 申 参加方法
 ￥ 参加費 持 持ち物 定 定員(選定方法)

12/4 金 なごみんカレッジ
手話講座

岡崎聾学校中高等部のみなさんを講師に招き、手話を使った挨拶や自己紹介、日常生活に必要な手話の体験会を実施します。

時 15:00～16:00

所 なごみんホール

￥ 無料

定 15名

申 必要。直接または電話にて、なごみんへお申し込みください。



悠紀の里

10/3

バンザイみんなでアート



六ツ美悠紀斎田の稲刈りの日に合わせたイベント。市民、公益活動団体、六ツ美中学校と共同でガラス壁面を使った1つの作品を制作しました。

悠紀の里

10/18

ゆきファミリーパーク
～10/18 おやこのきねん日～



子育て支援団体(11団体)との協働企画。お面作りや着物の着付けブース、育児雑誌の販売などが行われ、各団体の活動内容を知ってもらう機会となりました。

市民活動センター

10/23・25

【市民活動のための】オンラインミーティング体験セミナー



コロナ禍で注目を集めている「オンラインミーティング」の体験セミナー。システム導入のサポート・機能紹介をすることで、団体活動に「オンライン」を取り入れてもらう機会を創出しました。

12/12 土 12/19 金 なごみんカレッジ
オンラインかんたん
マジック講座

岡崎マジック愛好会のみなさんを講師に招き「トランプ」を使ったマジック講座を開催します。だれでもできる簡単なマジックです。

時 13:30～15:00

所 オンライン

￥ 500円

申 必要。直接または電話にて、なごみんへお申し込みください。



まちのミカタ

Litaracy

ーりたらしいー

106

2020年11月



特集

籠田公園から始まる地域再生

最近、籠田公園ではイベントなどが無くても平日・休日を問わず多くの方々が楽しんでいる様子をみかけます。公園界隈にはオシャレなお店が続々とオープンし、若者や現役世代の方々に人気を博しています。りたは岡崎の中心市街地(康生地区)の再生に14年間にわたって関わってきましたが、近年の変化には特に目を見張るものがあります。

康生地区は、1991年に年間販売額がピークを迎えたのを境に、商業地区としての衰退が顕著になりました。その後、岡崎市の政策として、人の流れを中心市街地に引き寄せさせるための拠点施設として岡崎市図書館交流プラザ・りぶらが整備さ

れ(2008年)、近年ではリノベーションスクール(2015年～)を中心とした空き店舗対策、さらに東岡崎駅一籠田公園一りぶら一岡崎公園に囲まれたエリア全体の再生が進められてきました。その中で「籠田公園や中央緑道の再整備をきっかけとして、住民や事業者が主体となった地域再生が推進される」というシナリオが描かれました。籠田公園界隈の変化は、こうした取り組みの成果の一端といえます。

本稿では、りたが関わってきた籠田公園およびその周辺を巡る市民参加の取り組みを概観しつつ、公園の再整備にとどまらない地域再生の取り組みについてご紹介します。

まちのミカタ

Litaracy

2020.11 vol.106

発行・編集

特定非営利活動法人
岡崎まち育てセンター・LITA

〒444-0031 愛知県岡崎市梅園町3丁目6-6
TEL(0564)23-2888 / FAX(0564)23-2898
http://www.okazaki-lita.com/
https://www.facebook.com/okazaki.lita/

配布

岡崎市図書館交流プラザ・Libra / 岡崎市内の地域交流センター
会員宛へ郵送 等 ※会員登録をご希望の方は左記までご連絡ください。

配布協力

岡崎市役所各支所 / 岡崎市各市民センター / シビックセンター /
FMおかさき / 杉くんの駄菓子屋 / angelshare / 松應寺 / cafeくらがり /

特集

市民と行政の協働から 市民と町内会と事業者の協働へ

地域課題を探り、解決する

遡るとりたは、2006年に市民や学生が主体となって中心市街地の再生へのアイデアを語り合うイベント(岡崎コミュニティ・デザイン・リーグ※1)の開催支援をしました。

そこで提示された提案の一つが「籠田公園の芝生化」でした。この頃「公園でイベントを開催し、収益の一部を公園の魅力向上に循環させよう」という考え方が提示されています。2007年からこの提案を具現化したファンドレイジング・イベント「青空クリエイターズフェスタ@籠田公園(※2)」が始まりました(2014年まで継続)。

そして2008年、岡崎市(公園緑地課)が籠田公園の改修に動き出したことをきっかけとして「籠田公園の芝生化」は現実のものとなりました。

芝生化には整備や管理にお金がかかることも懸念されたため、市民有志らと行政の担当者が芝生化の方法について勉強会を開催し「あい森と緑づくり基金を活用して5年間をかけて少しずつ芝生化を進める。芝生張りは市民が行う」という持続可能な方法が発案され、実行されました。毎年、芝生張りに150名を超えるボランティアが集まる等、籠田公園に関わる市民の輪が広がり、公園の清掃や芝生の水やりに関わる市民にも増えました。

※1: 京都コミュニティ・デザイン・リーグ(以下、京都CDL)を岡崎流にアレンジした企画。京都CDLは、京都およびその近郊に立地する大学の研究室が地区の再生提案を行っている。

※2: 「Litaracy vol.51」を参照。



写真: 芝生化 + クリエイターズフェスタ2014

新しい籠田公園に関わるワークショップ

2016年、籠田公園の再整備計画が浮上しました。これは岡崎市が進める中心市街地のまちづくりにおいて、籠田公園が拠点施設の一つに位置づけられたためです。籠田公園の再整備は、コンペで選ばれたオンサイト計画設計事務所的设计案を基本として、市民意見を反映したのですが、その中心には芝生広場が大きく計画されました。これは市民手づくりの芝生広場を継承したものです。

この計画案が固まってきた段階で、りたは2018年に「新しい籠田公園に関わるワークショップ(※3)」を開催しました。地元町内会の役員の方々、公園の維持管理に関わるボランティアの皆さん、商店街関係者、一般市民ら20名程度が語り合う中で「(過去に中止した)盆踊りを久しぶりにやろう」等の思いが共有され、その後「籠田公園周辺の7町内が連合し、事業者も巻き込んで盆踊りを開催」「市民の自主グループが防災ディナーを企画実施」と動き出した他、日常的にはボランティアの皆さんと造園業者の方々が連携をして、美しい籠田公園を維持してくれています。

新しく生まれ変わった籠田公園の魅力や使い方については、別途パンフレットが作成されています。是非ご覧ください。

→<https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1567/1638/p026632.html>

※3: 詳細は「QRUWA通信vol.4」を参照。



写真: ワークショップの様子

特集

公園づくりからまちづくりへ

地域課題を探り、解決する

「新しい籠田公園に関わるワークショップ」を進める中で、公園周辺は極端な高齢化が進んでいることが確認され、住民の暮らしの質をどのように維持、向上できるのかが大きな課題であることが関係者間で共有されました。そこで公園活用の議論と並行して、地域課題を明らかにする住民アンケートが地域が主体となって実施されました。

その結果「防犯、防火や治安のこと」「災害への備えに関すること」「新旧住民の交流」等に取り組む必要性が高いことが明らかになりました。2020年に改めて籠田公園周辺の3町内会や7町連合の役員の方々に集まっていただき、地区再生の進め方を話し合い始めました。当面「不審者やスケートボードによる公園の破壊防止活動、自転車の危険運転の抑止」といったまちの治安向上に向けた動きや「防災マップの作成や見直し、災害時の避難誘導と日常的な高齢者の見守り体制の構築」といった地区防災力を高める活動を進めることとなっています(りたはこうした住民が主体となった地域再生活動を支援しています)。

一方で、籠田公園から南に伸びる中央緑道の再整備も現在進行中です。こちらの地区も、籠田公園周辺地区での経験を活かして地域再生の支援を進めたいと考えています。



写真: 役員検討会



写真: 籠田公園パンフレット

籠田公園周辺に近年オープンしたお店等の様子



最近では、籠田公園にキッチンカーが来るのは日常の風景になりました。公園周辺にはカフェやラーメン屋、ハンバーガー屋、ジューススタンド、さらにレストランやホテル等、多種多様なお店が増えてきています。お店でテイクアウトした飲み物や食べ物を持ち込むことで、籠田公園の楽しみ方も広がります。